

2022年12月

各 位

公益財団法人 日本生命財団

日本生命財団 児童・少年の健全育成助成

12月より
公募開始

「2023年度 実践的研究助成」公募開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、日本生命財団の活動につきまして、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2023年度・児童・少年の健全育成助成「実践的研究助成」の公募仔細が決定しましたので、「募集要項」とともに、謹んでご連絡をさせていただきます。

ぜひ、貴大学の研究者の皆様宛、メール・ホームページ等にて広くご紹介をくださいますようお願い申し上げます。また、ご案内のポスター(2部)、フライヤー(3部)を同封しますので、学内への掲示もあわせてお願い申し上げます。

なお、「募集要項」及び「申請書」は下記ホームページからダウンロードできます。誠に、お手数でございますが、電子メールへの添付ファイルとしてご活用いただければ幸いです。末筆になりましたが、貴大学のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

記

□2023年度公募の概要

	2年助成	1年助成
研究対象	「重点募集分野」(次葉)に対する課題を明確にした実践的研究	
助成対象(代表研究者)	研究者(注1)または実践家(研究者であり実践家である者を含む)	
研究組織	複数名の研究組織で研究者と実践家の双方が参画	
助成期間と助成金額	2023年8月より2年間 1件最大400万(1年最大200万)	2023年8月より1年間 1件最大100万
助成予定件数	3~4件程度	5~7件程度
研究成果の社会還元	シンポジウム、書籍出版(注2)	ワークショップ
申請書(注3)	当財団所定の2年助成申請書	当財団所定の1年助成申請書
応募開始日	2022年12月1日(木)	
応募締切日	2023年 3月1日(水)	
助成の決定	本財団選考委員会にて選考の上、本財団理事会で決定	

(注1) 「1年助成」は、以下に該当する者も助成対象者(代表研究者)といたします。

- ①大学院博士課程(博士後期課程)に在籍し、指導教員の推薦を受けた者
- ②大学院博士課程(博士後期課程)を修了、または単位取得退学した者で、常勤の職にない者

(注2) 2年助成は、研究成果を市販書籍として出版する場合、別途助成を準備いたします。

(注3) 2年助成と1年助成の重複申請は不可となっております。

【募集要項、申請書、申請の手続】

○下記当財団ホームページをご確認ください。

<http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp>

ニッセイ財団 児童研究



○とくに、当助成は以下の重点分野に対する課題を明確にした研究への助成を行います。
 (ご参考として、分野毎に関連するキーワード・キーフレーズを付記いたしております)。

■第1分野:健全育成のための教育、周到的準備を図る分野(教育、予防的対応等を図る分野)
 《キーワード・キーフレーズ》

精神の発達 身体の発達 社会性の発達	生涯発達(ライフスパン)、愛着、自己肯定、自己形成、規範意識、 基本的な生活習慣づくり、食育、自然体験、運動、人間関係、 社会体験、社会参画・貢献、メディア、情報、多文化理解
保育 学校教育 社会教育	教育のユニバーサルデザイン、インクルーシブ教育、特別支援教育、 教科教育、授業のオンライン化、総合的学習、アクティブラーニング、 ICTメディアリテラシー、ソーシャルスキルトレーニング(SST)、 ストレスマネジメント、安全教育、健康教育、主権者教育、消費者教育、 ペアレントトレーニング、人権教育、ダイバーシティ教育、 環境教育、キャリア教育・職業教育、医療的ケア児
新たなファミリー・ネットワーク	親子関係の再構築、里親、あらたな家族のあり方
家庭、学校・地域社会の関係再構築 地域教育	親への支援、学校と地域の連携・協業、コミュニティスクール、 地域高齢者による健全育成支援

■第2分野:健全育成にとって喫緊の対応を要する分野(療育的対応等を要する分野)
 《キーワード・キーフレーズ》

心身の発達・健康の問題	知的障がい、身体障がい、精神障がい、発達障がい、行動障がい、 慢性疾患、難病、アレルギー性疾患
心身の危機	いじめ、自殺
家族の課題と病理	虐待、ネグレクト、マルトリートメント、家庭崩壊、DV、ヤング ケアラー
人権・プライバシーの危機	SOGIE、性差別、性暴力、人種差別、障がい者差別
社会性の危機	ひきこもり、不登校、非行、過度な情報ネットワーク(メディア・ SNS・ゲーム)への依存・耽溺
大人の側の課題	貧困、教員の長時間労働・過度な心身への負担、 教員(支援者含む)の専門性向上、チーム学校

当件のお問い合わせ先

公益財団法人日本生命財団 児童・実践的研究助成事務局(伯井)

(メールアドレス) jidou-kenkyu@nihonseimei-zaidan.or.jp

(ホームページ) <http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp>

(電話番号) 06-6204-4013 (10時-17時)



募集の概要 2023年度実践的研究助成の概要

助成内容 第1分野 健全育成のための教育、周到的準備を図る分野

第2分野 健全育成にとって喫緊の対応を要する分野

応募開始 2022年12月1日(木)

応募締切 2023年3月1日(水)消印有効

助成決定 当財団選考委員会にて選考の上、2023年6月の理事会で決定

お問合せ先 募集要項詳細は、当財団ホームページを参照ください。

ニッセイ財団 児童研究 検索

〒541-0042 大阪市中央区今橋3丁目1番7号
日本生命今橋ビル4階 TEL.06-6204-4013



ニッセイ財団 児童・少年の健全育成助成

実践的研究助成 公募開始のご案内

助成期間	2023年8月から2年	2023年8月から1年
助成金額	最大400万 (1年最大200万)	最大100万
助成対象者	研究者、または実践家	研究者、または実践家 大学院博士課程在籍者も対象
助成予定件数	3~4件程度	5~7件程度

公益財団法人日本生命財団(ニッセイ財団)は、
2023年度 実践的研究助成の募集を行っています。
当助成は、多様性ある子どもたちの「真のウェルビーイング」の
あり方について研究し、現実の家庭・学校園・地域社会に
おいて、その成果の実践、社会実装の探求を
進めてまいります。

- 本財団は「子どもを巡る『真のウェルビーイング』の探求」をテーマに、研究者と実践家が協働して研究成果の社会還元、社会実装を目指す研究への助成を行っています。
- とくに、以下重点分野に対する課題を明確にした研究への助成を進めて参ります。
なお、ご参考として、分野毎に関連するキーワード・キーフレーズを付記いたします。

第1分野

健全育成のための教育、周到的準備を図る分野 分野番号1 (教育、予防的対処等を図る分野)

キーワード・ キーフレーズ	精神の発達 身体の発達 社会性の発達	生涯発達(ライフスパン)、愛着、自己肯定、自己形成、規範意識、基本的な生活習慣づくり、食育、自然体験、運動、人間関係、社会体験、社会参画・貢献、メディア、情報、多文化理解
	保育 学校教育 社会教育	教育のユニバーサルデザイン、インクルーシブ教育、特別支援教育、教科教育、授業のオンライン化、総合的学習、アクティブラーニング、ICTメディアリテラシー、ソーシャルスキルトレーニング(SST)、ストレスマネジメント、安全教育、健康教育、主権者教育、消費者教育、ペアレントトレーニング、人権教育、ダイバーシティ教育、環境教育、キャリア教育・職業教育、医療的ケア児
	新たなファミリー・ネットワーク	親子関係の再構築、里親、あらたな家族のあり方
	家庭、学校・地域社会の関係 再構築 地域教育	親への支援、学校と地域の連携・協業、コミュニティスクール、地域高齢者による健全育成支援

第2分野

健全育成にとって喫緊の対応を要する分野 分野番号2 (療育的対処等を要する分野)

キーワード・ キーフレーズ	心身の発達・健康の問題	知的障がい、身体障がい、精神障がい、発達障がい、行動障がい、慢性疾患、難病、アレルギー性疾患
	心身の危機	いじめ、自殺
	家族の課題と病理	虐待、ネグレクト、マルトリートメント、家庭崩壊、DV、ヤングケアラー
	人権・プライバシーの危機	SOGIE、性差別、性暴力、人種差別、障がい者差別
	社会性の危機	ひきこもり、不登校、非行、過度な情報ネットワーク(メディア・SNS・ゲーム)への依存・耽溺
	大人の側の課題	貧困、教員の長時間労働・過度な心身への負担、教員(支援者含む)の専門性向上、チーム学校

